

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：：

単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： 山口 ）（2組： 山口 ）（3組： 山本 ）（4組： 山口 ）（5組： 山口 ）（6組： 山本 ）

使用教科書：（現代の国語 東京書籍 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・劇	書	読					
1 学 期	視点を定める 「木を見る、森を見る」	・用語集、辞書を使用を習慣化させ、語彙を増やす。 ・文章の種類ごとの読解の注意点を示し、どこに重点をおいて読むとよいかを意識させる。			○	論理的な文章を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識及び技能】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。	○	○	○	6
	視点を定める 「水の東西」	・教材と時事的な問題、身の回りの出来事と関連を示唆し、筆者の主張を理解した上で自分の見解を持つことを促す。			○	【思考力、判断力、表現力等】 筆者の問題提起を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して積極的に考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	言葉へのまなざし 「身銭を切るコミュニケーション」	・用語集、辞書を使用を習慣化させ、語彙を増やす。 ・文章の種類ごとの読解の注意点を示し、どこに重点をおいて読むとよいかを意識させる。			○	論理的な文章を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【知識及び技能】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要を把握している。	○	○	○	6
	言葉へのまなざし 「言葉は世界を切り分ける」	・教材と時事的な問題、身の回りの出来事と関連を示唆し、筆者の主張を理解した上で自分の見解を持つことを促す。			○	【思考力、判断力、表現力等】 筆者の問題提起を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して積極的に考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
定期考査						○	○		1	

